令和5年度
大阪ペピイ動物看護専門学校
学校関係者評価報告書

令和6年3月

学校法人宮﨑学園
大阪ペピイ動物看護専門学校

令和5年度 学校関係者評価報告書について

大阪ペピイ動物看護専門学校は、本校の教育理念・教育方針や教育活動、学校運営等につきまして学校自己評価を実施し、「令和5年度学校自己評価報告書」を取りまとめて、本校のホームページに公開いたします。

また、この度は本校の教育活動と学校運営等につきまして、獣医療関係者や動物関連分野企業等関係者、保護者、卒業生等の方々のご意見を反映させることを目的に、学校評価委員会を設置し学校関係者評価を実施いたしました。

学校評価委員会におきまして、評価委員の方々には「令和5年度学校自己評価報告書」についてのご意見等をいただき、「令和5年度学校関係者評価報告書」として取りまとめました。

今後は、ご指摘いただきましたところは謙虚に受け止め、より良い教育の場を目指し、教職員一同、改善・向上に尽力してまいる所存です。

関係者の皆様には、今後とも引き続き、ご支援とご指導をお願い申し上げます。

令和6年3月
学校法人　宮﨑学園
大阪ペピイ動物看護専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

委員氏名	所　属	備　考
淡路　俊喜	たんぽぽ動物病院 院長	獣医療関係者
新山　亮	ごんた動物病院 院長	獣医療関係者
西澤　亮治	特定非営利活動法人　動物愛護社会化推進協会　事務局長	関連分野企業等関係者
平尾　泰久	新日本カレンダー株式会社 常務取締役	関連分野企業等関係者
小笹　孝道	株式会社十二志会　代表取締役 おざさ動物病院　院長	獣医療関係者
高山　孝博	公益社団法人 大阪市獣医師会　会長 たかやまペットクリニック　院長	獣医療関係者
川田　睦	公益社団法人 日本動物病院協会　会長 株式会社ネオベッツ　代表取締役	獣医療関係者
上田　晃嗣	株式会社ネオベッツ　勤務	卒業生

学校関係者評価委員会事務局

委員氏名	所　属
吉内　龍策	大阪ペピイ動物看護専門学校 校長
宮﨑　安弘	学校法人宮﨑学園　理事長 新日本カレンダー株式会社　代表取締役
青木　理子	大阪ペピイ動物看護専門学校 副校長

1. 学校の教育目標

評価者意見等

・①②③とも、学生の主な進路となる動物医療の臨床現場」では重要な項目、目標であると考えます。特に②の「人間関係を良好に維持できるコミュニケーション能力」は、来院のペット飼育者、獣医師、院内スタッフ、関係先の企業、組織などとの良好な関係、協力を得るために最も必要な資質であると考えます。動物医療以外の職種、また将来別のキャリアとなっても、コミュニケーション力、対応力は不可欠ですので、そのための授業や実習、普段からのトレーニングをお願いしたく思います。
・卒業生に対する教育目標達成度と学んでおきたかったこと、アンケート実施されたことはありますか？
・すべて大事なことだと思いますが、特に②はこの仕事をするに当たっては大切なことではないでしょうか。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

評価者意見等

・①について 3年制への移行に伴い、カリキュラムにも一部変更が生じましたが、教員の皆さんの新たな知識、技術などの習得はどのような状況でしょうか。多忙であることは承知していますが、動物病院での臨床における愛玩動物看護師の仕事の内容、獣医師、飼育者のニーズ、求めているスキルなどの情報についてもアップデートは必須と考えます。 ・②について 新たに設置されている「ペピイカフェ」との連携はどんな状況でしょうか。昨年10月にネオベッツVRセンターの移転があり、NKスクエアとしては、“魅力の付加”ではなく、逆にマイナスとなっていると感じています。 ※ペピイ学校のホームページ フロアマップ　https://www.peppy.ac.jp/school/floormap/ ネオベッツ　VRセンターが記載されたままになっています。 学校案内　https://www.peppy.ac.jp/school/new-peppy/ こちらにも　VRセンターが残っています。 また　ペピイカフェ　ではなく　ペピイスペース　のままになっています。 十二志会の夜間病院も記入がありません。早急に修正をお願いします。 ・③について 1年生、在校生の離脱、退学、休学などの最新の状況は如何でしょうか。全学生の3年制への移行もあり、2年から3年へ1年長くなった分、学生の学習へのモチベーションをどのように維持、継続するかも課題ではないかと考えます。また、愛玩動物看護師の資格取得が在校生の学習意欲の向上につながっているのか、などの実際の状況も聞かせていただければと思います。 ・⑤について “愛玩動物国家資格化に向けた万全の対応”とありますが、この中身について詳しくお聞かせいただければと思います。
・③　毎年、何名かは離脱者はいるのでしょうか？4-4にも関連するかと思いますが。
・学校教育目標でもある問題解決能力：失敗させる、失敗から学ぶ能力の向上

3. 評価項目の達成及び取組状況

1　教育理念・目標（小項目1-1～1-5）

・1-2　具体的な業界の動向やニーズ調査方法（学校関係者評価委員会議事録？）はどのようにされていますか？ コロナによる行動制限がなくなりましたが、コロナ前と状況は変わってきていると思います。

２　学校運営（小項目2-1～2-14）

評価者意見等

・動物病院、動物医療業界（ペット業界も含め）は様々な部分で変化してきています。飼育頭数の減少（特に犬）、医療費の高額化、雇用形態の多様化、開業動物病院数の増加数の鈍化（地方では減少）などがみられています。それに合わせて、学校も変化し対応していく必要があると思います 主な進路である“動物病院”の情報の収集を目的に、開業獣医師、獣医師団体・グループとの連携、定期的なミーティング開催など取り組まれては如何でしょうか。
2－13、14 ・社会全体がハラスメント（アカハラ、パワハラ、モラハラ）について一層敏感に、厳しくなってきています。これまでは問題はないとされてきた言動や態度なども大きな問題となる可能性があります。この問題は本人自身が認識していない、わかっていない場合が多いため、トラブルの防止、起こった時の対応、起こさないための工夫など、学校全体で確認点検していただければと思います。
・苦情はどの程度集まっていますか？ また、苦情の申し立て易さについて苦情はありませんか？

３　教育活動（小項目3-1～3-21）

評価者意見等

・愛玩動物看護師の資格取得は、学生自身のモチベーターにどのようにプラスになっているのか、知識や技術の取得意欲につながっているのかなど、現状をお聞きできればと思います。
・国家試験に大動物の内容がありますが、愛玩動物看護師の職務内容と矛盾が生じているように感じます。大動物の勉強はされていますか？学習指導要領のボリュームは他校と比べてどうでしょうか。

４　学習成果（小項目4-1～4-10）

評価者意見等

・4-4で、「退学率の低減が図られているか」のスコアが“3・適切”となっていますが、「2．重点的に取り組む～」の“1年生の離脱6％以下”が達成できているという判断でよろしいでしょうか。退学者、離脱者の低減は、学校として継続する重要な課題と考えます。 ・4-5、4-8　については、昨年度、「直近1～5年の卒業生については、勤務の状況、給与、などを把握するように、卒業生調査の実施を直ちに実施していただければ」との意見を記させていただきました。現状の把握、実態については如何でしょうか。給与を含めた職務実態を正確に把握することができれば、入学者の募集、高校への案内、在校生の意欲の向上に反映できるのではと思います。
・卒業生に対する学びなおし、生涯学習について行っていることを教えてください。

・4-8 卒業生アンケートから教育活動の改善に活用された事はどのような事がありましたか？

５ 学習支援（小項目5-1～5-12）

評価者意見等

・5-1 3の2、学校運営のところでも触れましたが、動物病院もその規模や業務内容、方針など、変化してきています。学生がその違いを十分に理解して就活できるよう、より詳細な情報を提供してもらえればと思います。より働きやすい職場環境／雇用条件・給与・業務内容で長く働けるよう、整備してもらえればと思います。最終的には学生の判断になりますが、正しい判断ができるよう情報の提供、指導をお願いします。
・5-5 支援体制の周知はどのように行っているのでしょうか？
・電子機器を利用した先生と生徒のつながりや、生徒同士で自立して活動するようなプログラムはありますか？

６ 教育環境（小項目6-1～6-6）

評価者意見等

・6-6 動物病院での臨床実務の実習状況はどのような状況かお聞きできればと思います。“就活としての実習”の部分がまだまだ大きいのでしょうか。愛玩動物看護師として可能になった業務等も動物病院実習で反映できている部分があるのか、あくまでそれ以外の業務の実習なのか、など現状をお聞きできればと思います
・ネオベッツVRセンター移転の影響は？ 深刻な問題を抱えた動物ご家族が近くで診察を受けている。
・6-5 大切なことだと思います。

７ 学生の受入れ募集（小項目7-1～7-13）

評価者意見等

・この数年、定員以上の出願者を獲得できていると聞いていますので、募集の部分については、オープンキャンパス、高校への説明・案内など、多くの方の工夫や努力の成果だと思います。ただし、就職先としての“動物病院”も、これから先、経営状況や採用が厳しくなる動物病院が増えてくると考えられています。また、国家資格化による雇用条件／給与水準のアップも、すぐには叶うものではないと考えます。今後、社会の状況や、動物医療業界の変化などで、思うように出願者の獲得ができなくなる可能性もあるので、少しでも退学者・離脱者を低減する取り組み、仕組み作りを継続していただければと思います。
・大切な子供を授業料を払って預ける以上、最低限の自己紹介は必要な気もします。親は先生と直接話をすることも少ないので、安心材料になります。でも、インフルエンサーでもない限り学校側のメリットは微妙ですね。
・7-9 なかなか難しいと思います。

８ 教育の内部質保証（小項目8-1～8-18）

評価者意見等

・課題に「教員として必要なコンピテンスが明確になっておらず～」「教員として必要な能力は多岐にわたるとともに、必ずしも明確になっていない」と記されておられますが、コンピテンスは、コミュニケーション力や協調性、社会常識、のことでもあるので、早く皆さんで確認、点検していただきたく思います。1. の学校の教育目標にも重なる部分かと思います。
・カメラを教室に設置し、常時確認できるようにする。

９ 財務（小項目9-1～9-4）

評価者意見等

なし

１０　社会貢献・地域貢献（小項目１０−１～１０−３）

評価者意見等

・本年（2024年11月）は大阪城での動フェス、開催の予定で協議が進んでいますので、ぜひ学校の参加、協力をお願いします。 ・１．２．３．　それぞれスコアが4・優秀　となっていますが、大阪府動管センターのボランティア参加以外で、何か奨励、支援されているものがあればお聞きできればと思います。
・2024年度は11月に大阪城動物愛護フェスティバルを開催予定です。日程調整中
・10−1　2024年度は動物愛護フェスティバルは開催予定です。以前と同じ形になるかは検討中ですが、開催の際には参加ご協力をよろしくお願い致します。